



議会だより

発行 片品村議会

No. 139

2014. 1. 20

かたしな

祝 第66回片品村成人式



第66回片品村成人式 (1月12日、片品村文化センター)

主な内容

12月議会定例会で決まったこと……2

進むか「都市との交流」? ……3~5

一般質問(2人)で村政を問う……6~7

委員会で慎重審査 ……8~9

日光市議会と交流、広報クリニック ……10

村民の声、議会傍聴者数は? ……11~12

平成 25年 12月 各会計予算の状況

会計名	補正額	補正後の額
一般会計補正予算(第3号)	2426万円	42億6329万円
介護保険特別会計補正予算(第2号)	154万円	4億7746万円
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	77万円	5498万円

12月議会定例会で
決まったこと

○一般会計補正予算(第3号)

主な歳入

- ・ 地方交付税 7288万円
- ・ 国庫支出金 3470万円(地域の元氣臨時交付金)
- ・ 県支出金 290万円(雇用創出基金事業補助金他)
- ・ 諸収入 397万円(過年度分他)
- ・ 村債 ▲9020万円(過疎対策事業債次年度振替他)

主な歳出

- ・ 庁舎2Fクロス張り替え工事等 317万円
- ・ 若者雇用創出事業委託料等 123万円
- ・ 障害者扶助費 140万円
- ・ 保育所費 266万円
- ・ 観光費 680万円
- ・ 奨学金基金 160万円
- ・ 学校管理費 小学校 632万円
- ・ 給食センター管理費 中学校 ▲2489万円
- ・ 1177万円
- ・ 国体総務費・準備費 909万円
- ・ 保健衛生費 ▲209万円

平成25年第10回片品村議会定例会(12月議会)を12月6日〜13日までの8日間にわたり開催しました。

「平成25年度一般会計補正予算」「平成25年度特別会計補正予算」など3議案が提案され、いずれも全員賛成で原案どおり可決しました。

○介護保険特別会計(第2号)

歳入

- ・ 保険料

154万円

歳出

- ・ 保険給付費
- ・ 地域支援事業費

150万円
4万円

○後期高齢者医療特別会計(第2号)

歳入

- ・ 一般会計繰入金
- ・ 諸収入 過年度分

8万円
69万円

歳出

- ・ 広域連合納付金

77万円

都市との交流を進める 特別委員会視察報告

■視察の期日

平成25年11月28～29日

■視察の場所

東京都目黒区・品川区
・ぐんまちゃん家（中
央区）

■視察の目的

- ①災害応援の関係づくりのきつかけについて
- ②文化・教育交流について

■視察の結果

- ①災害応援
目黒区・都心から2時間程度で移動できるということなので、関係づくりについて検討してみたい。
- ②文化・教育交流
目黒区・豊富な体験ができるようなので、関心を新たにしたい。
品川区・スポーツ合宿等の適地として興味深く感じた。

■今後の交流を進めるために

両区内で開催されるイベント等に参加し、議会及び住民同士の交流からはじめるのが良い。

■都市との交流を進める特別委員会について

村は、現在、蔵市・上尾市・日光市・南相馬市と災害時相互応援に関する協定を締結している。

議会では村の活性化のために、9月定例議会で「都市との交流を進める特別委員会」を設置し、12月までに5回の委員会と2回の行政視察を実施してきた。村を住みよく、活力ある尾瀬の郷にするために行政と連携して行きたい。



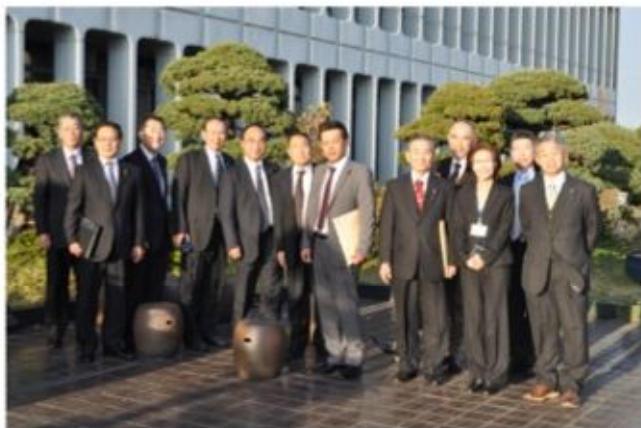
区役所応接室での懇談



目黒区長(中央)との面会

目黒区

目黒区は、25年11月1日現在の人口が26万7千人で、高齢化率は20パーセントです。



区役所屋上庭園の記念写真



区議会議長のあいさつ



区役所会議室での区長のあいさつ



区役所・議会幹部との懇談、星野委員長あいさつ



区役所幹部との懇談

品川区

品川区は、平成25年11月1日現在の人口が26万7千人で、高齢化率は20パーセントです。



区役所の地震体験車



ぐんまちゃん家で、出迎えてくれたぐんまちゃん

中央区

ぐんまちゃん家は銀座にあり、群馬県の魅力をPRするため、観光案内や物産販売、市町村等主催の各種イベント、企業誘致活動などを行っています。

片品村の「都市との交流一覧」

(資料：むらづくり観光課)

自治体名及び特徴	協 定 等	近 年 の 交 流 内 容
<p>■埼玉県蕨市 人口7万2千人、面積は5.10 Km²。東京都に隣接、全国一のミニ市で、人口密度が全国一の市。スポーツ少年団活動やコミュニティ活動の活発な市。</p>	<p>平成8年～行政間の交流。ふれあい協定・災害時における相互応援協定を結んでいる。特産品のPR及び観光宣伝などを実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報誌や有線TV・イベント等を通じた本村PR ・野菜等宅配便モデル直販の実施 ・わらびリンゴ記念植樹及び試験栽培交流 ・小中学生等のキャンプ来村 ・スポーツ少年団等の村内宿泊利用 ・市役所ロビーに片品村コーナー設置など
<p>■埼玉県上尾市 人口22万8千人、面積は45.55 Km²。都心に近く、田園都市から工業都市・住宅都市に変ぼうしている市。上尾シティマラソンは大勢の参加者で賑わう。</p>	<p>平成19年～行政間の交流。災害時相互応援に関する協定、片品村宿泊施設等の利用に関する覚書を結んでいる。特産品のPR及び観光宣伝などを実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練時の片品村への避難訓練宿泊実施 ・片品村宿泊施設等の利用に関する覚書締結 ・市役所幹部職員の村内宿泊研修 ・村内宿泊を伴う尾瀬ハイキング実施 ・祭りやイベント等での交流と本村PR ・市役所ロビーに片品村コーナー設置など
<p>■栃木県日光市 人口8万7千人。年間観光客数950万人。栃木県の約4分の1の面積を有し、全国で3番目の広さを持つ市。豊富な観光資源がある。</p>	<p>平成20年～行政間の交流。災害時における片品村と日光市との相互応援に関する協定を結んでいる。特産品のPR及び観光宣伝などを実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りやイベント等に参加し交流と本村のPR ・金精峠の年間開通へ向けて連名要望書の提出 ・広域観光マップの共同配布等について話し合い ・武尊山開き等への招待など
<p>■福島県南相馬市 人口6万4千人。福島県浜通り北部で、面積は398.50 Km²。東日本大震災後、本村へ約1千人の市民を迎え入れた。</p>	<p>平成23年～行政間の交流。平成25年に災害時相互援助に関する協定を結んでいる。特産品のPR及び観光宣伝などを実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りやイベントに参加し交流と本村PR ・今後の交流に向けて観光等責任者の来村 ・片品村商工会女性部による野菜等宅配の実施 ・武尊山開き等への招待など
<p>■埼玉県川口市 人口58万3千人。東京都に隣接、面積は61.97 Km²。</p>	<p>平成10年～始まりは議員間の交流、行政間の交流はなし。特産品のPR及び観光宣伝を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りやイベントに参加し本村PR
<p>■神奈川県藤沢市 人口41万8千人、面積は69.51 Km²。相模湾に面し江ノ島を有す。</p>	<p>平成13年～旧事業課と市役所等関係者の交流が始まり。村観光協会や酒屋組合、武尊地区国有林野協議会が中心となり、特産品のPR及び観光宣伝を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りやイベントに参加し本村PR

で村政を問う！



戸丸 廣安議員

問 防災面から見た年間開通の必要性とその効果について、どのように考えるか。

答 (村長)

片品村の主たる道路網は、冬期間は沼田市につながる国道120号線と川場村につながる県道平川横塚線の2路線のみとなる。

私たちの生活は道路なくしては成り立たない。有事に備え、金精峠の年間開通は防災面から見ても大事な路線として必要であり、村民の安心安全につながるものと考え、**問** 金精峠の冬季通行の安心安全を確保するため、新たな峠のトンネル形式案が現実的に考えられるか。

Q 防災面から見て金精峠の年間開通の必要性は？

A 年間開通は防災面から必要、村民の安心安全にもなる

答 (村長)

国道120号線の道路管理者は群馬県及び栃木県であり、整備計画や管理については、国及び両県で決定することになるので、関係者並びに関係機関にお願いしていく。

問 防災面を含めた総合的観点で、さらに両県、国、関係者の理解を得るようにするのか。

答 (村長)

安心安全を確保するために、今後とも両県、そして国、その他関係機関のご理解をいただき、防災面からも対応してもらえるように働きかけを行っていく。

問 金精峠の年間全面通行実現に向けての今後の見通しについて聞きたい。

答 (村長)

実現に向けては、国及び両県が方向を示し決定するもので、村としては年間開通に向け今後とも鋭意努力していく。



「金精峠冬季閉鎖、丸沼先から通行止」
下小川の道路標識の案内



丸沼スキー場から金精峠方面は閉鎖中
(第2駐車場付近)

一般質問(2人)



星野 育雄議員

問 閉校する小学校のあゆみの編さんと発行する必要があると思うが、どう対応するか。

答(教育長)

記念事業、記念行事は、各学校が地域と検討、協議をして行ってほしい旨、各小学校長にお願いしており、費用は応分の負担をする考えである。

問 村の交通体系の見直

シカなどの鳥獣害侵入防止柵
(東小川地区) (農林建設課提供)

しと併せたスクールバス運行計画はどこまでできたのか。

答(教育長)

公共交通体系の見直し作業は、むらづくり観光課で担当し、これから作業に入る。

問 来年4月の片品小学校の一部統合に伴う、片品小学校児童の片品北小学校への送迎計画はどうなっているのか。

Q 閉校する小学校の跡地利用については、どう対応していくのか？

A 地元住民と協議しながら進める

答(教育長)

村内輸送業者3社と契約し、4月の始業時から輸送できる体制をとっている。

問 閉校する小学校の跡地を利用して病院と連携

した特別養護老人ホームの誘致、歴史民俗資料館の開設、勉強合宿等に活用する考えはあるか。

答(教育長)

跡地利用については、地元と協議して、必要で実現可能なものについて対応していきたい。

問 鳥獣害防止柵を来年度どこに何キロメートル設置するのか。

答(村長)

補助事業を活用し、昨年度までに総延長約35キロメートル設置しており、今年度は摺淵地区と花咲地区に約1.5キロメートル、



鎌田中心街の「かたしなや」

来年度は同地区に2.4キロメートル設置予定。

問 農業者と消費者が直結した販売体制をいかに拡大していく考えか。

答(村長)

本村の農作物は味がよく好評であり、加工業者やレストラン、スーパーなどとの直接取引やトウモロコシ街道の直売所や花の駅・片品花咲の湯と村の物産屋・かたしなやでの販売や宿泊客への提供をしているが、新たな直売所や道の駅化を視野

に検討し、野菜の宅急便やインターネット販売にも更なる拡充をはかる。

問 農業の六次産業化をどのように進めていく考えか。

答(村長)

取り組む意欲のある事業主が不可欠であり、村独自の補助制度として、専門家を招いた勉強会、施設や機械の整備、試作品の研究など事例を紹介しながら、農家や住民団体等に周知し、事業の掘り起こしに努めていく。

Q 農業所得の向上対策を進める考えは？

A 行政として可能な範囲で積極的に支援する

審査しました

各委員会を開催

総務文教常任委員会

協議事項

一、平成25年度一般会計
補正予算について

問 固定資産の評価に当たってのレッドゾーン(土砂災害警戒特別区域)、イエローゾーン(土砂災害警戒区域)については。

答 (住民課長)

平成27年度に固定資産の評価替えがあり、防災関係での警戒区域に指定された所は評価が下る。

問 固定資産税の徴収に対して減収があるか。

答 (住民課長)

災害区域に指定されれば、評価が下るので税収も下がる。



大規模改修を待つ片中校舎裏側

問 片品中学校の大規模改修工事については。

答 (教育次長)

平成26年度に設計料の再計上をして平成27年度に大規模改修に入りたい。

問 平成27年度は、片品小学校の改築工事と時期が重なるが支障はないか。

答 (教育次長)

大変な仕事になるが、国を挙げて耐震補強を行っており、指摘も受けており生徒たちの安全にかかわることなのでしていきたい。

問 片品北小学校の体育館の床の補修について。

答 (教育次長)

床の表面をはがして、磨いて、もう一度ラインを引き直して上塗りの工事を考えている。

問 平成25年4月からの母子手帳の発行部数は。

答 (保健福祉課長)

4月から11月までで10部。

問 平成25年4月以降に生まれた人数は。

答 (保健福祉課長)

4月から11月までに生まれた方は12名。来年3月ま

でにまだ増える可能性はある。

問 子宮頸がんの予防接種の人数は。

答 (保健福祉課長)

問い合わせを含めてゼロ。いろんな情報を集めて自分なりに判断をしているようだ。

二、所管事務について

【教育委員会報告】

①片品小学校改築工事について

■解体工事の工程

平成26年7月に解体を始めて、9月末までに終わる予定で進めていきたい。

7月からというのは、県から補助金の交付内示を受ける前には、着工しないよう指導があった。

■改築工事の工程

工期は平成26年10月から平成28年2月までの2ヶ年をかけて改築したい。準備工・共通架設から始めて工期までに仕上げる予定。ソーラーパネル(34キロワット)を設置して、子供たちに環境教育の意識をつけたい。

②平成28年度第66回全国高等学校スキー大会(平等)



新装された片品北小学校体育館の床張り

成29年2月)の片品村開催要請に係る今後の検討方針等について

■最近の開催事例を踏まえると会場近くの高等学校に事務局を置く。

■負担金があるとすると、群馬県と片品村の支出額のバランスを考える。

■全中・国体でハード面の施設整備はしてあるので新たな施設整備はしない。

■大会運営・大会開催に向けての準備については高体連で行う。以上、四項目を村の考え方として、議会、スキークラブ、スキー場連絡協議会、観光協会、旅館民宿組合連合会の合意のもと、片品村での開催に同意したい。

(委員長 千明 道太)

委員が慎重に

12月議会中の12月10日に

観光産業常任委員会

協議事項

一、所管事項について

問 観光協会への質問、

①インバウンド（訪日外国人旅行客誘致）の戦略は。

②観光協会には英語・中国語・韓国語ができる人がいるか。

③村内で外国語の会話ができる人を把握しているのか。

答（観光協会局長・参考人）

①教育旅行に関して小学生を主体に進めていきたい。また、企業のセミナー誘致も推進していきたい。

②ある程度の語学研修を行っている。

③語学力の調査等は行っていないが、今後、対応ができるようリストは作成したい。

問 日光市までを踏まえた観光マップ作成がどの程度、どんなものになっているのか。

答（むらづくり観光課長）

今春の金精峠が開通するまでには完成するよう、補正にあげさせて頂きたい。日光まで来たお客様が、関越を回って帰ろうと思ってもらえるようなマップにしたい。



高価で販売中の川場村のブランド米「雪ほたか」（田園プラザ）



根強い人気の片品の花豆

問 村は、蕨市、上尾市、日光市、南相馬市のほか川口市、藤沢市と交流をしているが、

①具体的な内容は、

②個別の費用は、

③成果は、

④今後、友好都市協定の締結にまで発展していく可能性がある都市は。

答（むらづくり観光課長）

①特産品のPRや観光宣伝などを行っている。

②個別には拾い出さないと出ないので時間がかかる。

③防災協定を結んでいる関係でスポーツ合宿やスキーなど、かなり村内に来てくれている。

④今協定を結んでいる蕨市、上尾市等としっかりやっていくことが大切。

問 川口市や藤沢市との今後の交流についてどう考えているか。

答（むらづくり観光課長）

村が率先してやるべき所と観光協会が中心になって進めるところとで割り振って対応している。

防災協定を結んだ蕨市、上尾市、日光市、南相馬市については村の方でしっかりと対応していかなければならない。

問 川場村がブランド化に成功している。片品もブランド化するのであればトマトに絞って全国的に認められるよう川場を参考にしたい考えたらどうか。

答（農林建設課長）

片品村でトップクラスの全国に誇れるものとする。トマトやトウモロコシであ

り、むらづくり観光課とも連携をしてワンランク上のものができるように、今後研究していきたい。

答（むらづくり観光課長）

片品村はそれプラス豆製品がいいと思っている。花咲の湯の方で、花豆の甘納豆を販売しているが、今年4月以降1千万円以上の売上げになっている。加工して付加価値を高めて販売することにもしっかりと取り組んでいきたい。

問 都市との交流の中で生産者と消費者を結びつける必要がある。住民代表をイベントの出店販売等の村の宣伝に連れて行くべきだ。

答（むらづくり観光課長）

過去に、旅費を払うという制度をつくって募集したが、応募者がいなかった。

（委員長 今井 功）

日光市議会との交流会

片品村議会は、恒例の日光市議会との交流会を平成25年11月19日実施しました。

日光市議会からは、議長、副議長、産業観光常任委員長をはじめとする7人の議員が出席されました。

平成25年4月17日、片品村長が栃木県知事、日光市長を訪問し、金精峠の年間開通への協力を得たことにより、日光市側に理解を得られない方がいることで進展しなかった、年間開通の話が動き出しました。

両議会では、次のようなまとめをしました。

①新トンネルを造り、冬季閉鎖を解除することが理想だが、実現に時間がかかることが予想される。

②これから調査が行われるとしたら、冬季閉鎖期間短縮の社会実験

を行うこともあるかもしれないが、社会実験により、どんなメリット・デメリットがあるか分かるので、やる価値があり、進めてほしい。

③議会として日光市長ならびに片品村長に要請していくことと、議会としても一緒に行動していく。

④その他として、日光市と片品村が入った観光マップを作ったらどうかの提案がありました。



日光市議会との懇談（片品村役場）

広報クリニックス

平成25年11月27日、議員派遣として議会広報研修会に、議会広報編集特別委員が参加し、はじめて片品村議会「議会だより かたしな」が編集の専門家の審査を受けました。申し込んで実現したものです。

審査結果は、決して高評価をいただくものではありませんでしたが、収穫の多い貴重な経験でした。

群馬県市町村会館で行われたもので、「広報クリニックス」の対象は、片品村・榛東村・吉岡町の議会だよりでした。チェックポイントは、①発行目的に沿った企画・編集になっているか、②読みやすさ・分かりやすさへの編集努力は等で、総評とともに改善点の指導がありました。

この道のエキスパー



議会広報研修会（県市町村会館）

- ◆トである芳野政明氏（編集・出版アドバイザー）が講師で、「伝える広報」から「伝わる広報」へのレベルアップを教示するものでした。
- ◆「議会だより かたしな」に対しては、以下の言及がありました。抜粋です。
- ◆見出しの工夫を！
- ◆レイアウトにメリハリを！
- ◆票決実数の表示を！
- ◆円グラフで視覚化を！
- ◆一般質問頁四点セットがよし！
- ◆一般質問の大見出し、活字大きく、枠なしで！
- ◆委員会審査頁、見出し大きく、2段3段で！
- ◆同頁、写真は散りばめて！
- ◆ワンポイント解説よし！
- ◆村民の声欄縦書きで！
- ◆最終頁、議会広報ならではの写真掲載を！

村民の声 (第10回片品村議会定例会を傍聴して)



星野 幸子さん(花咲)

初めて、議会を傍聴し、村長さん始め、議員の皆さんの努力により、椎坂トンネルの開通が実現したのだと実感しました。

スキーシーズンを迎え、片品村のスキー場に多くのお客さんが来てくれることで、賑わってほしいと思います。

トンネルが出来て大雪の際の心配もなくなり、「片品はいいところだね」「また来よう」と思ってくれるお客さんが増えて、ペンション・民宿・ホテルにたくさんのお客さんが宿泊してくれるようになってほしいと思います。

廃校となる学校の跡地利用については、村民が集まって交流のできる施設を作ってほしいと思います。

私は他県から嫁いで40年。さらに住みやすい片品村になるのが私の願いです。

村民の声 (第66回片品村成人式で思うこと)



中村 空良さん(鎌田)

＝ 今年の片品村成人式実行委員長がズバリ発言！ ＝

Q：片品村議会は何をする所か、知っていますか？

A：よく分からないが、大事なことを話し合う所です。

Q：村に何をしてほしいですか？

A：昨年、お笑ライブをしたが、そういうのをどんどん呼び込むなどして、若者が元気になる企画をしてほしい。でないと、下(しも)に出ちゃうので、いろんな企画で若者を盛り上げてほしい。

Q：議会は何を成し遂げてほしいか？

A：若い人が少なくなるので、仕事ができる場所を作ってほしい。また年寄が増えるので、福祉やその他の施設を増やしてもらいたい。

Q：どんな片品村になってほしいか？

A：住み心地はいいので、それを保ってほしい。若者が残れる魅力ある村であってほしい。

議会活動日誌

11月

- 10日 道路愛護の巡視
- 13日 町村議会議長全国大会
- 15日 過疎地域自立促進連盟定期総会
- 19日 日光市議会との交流会
- 21日 議会運営委員会、議会全員協議会
- 22日 椎坂トンネル開通式
- ” 群馬県知事との懇談会
- 27日 議会広報研修会
- 28日 「都市との交流を進める特別委員会」行政視察 東京都目黒区
- 29日 同上 行政視察 東京都品川区、中央区のぐんまちゃん家

12月

- 5日 沼田市議会傍聴
- 6日 片品村降雪・安全祈願祭

- 6日 12月議会定例会開会、補正予算説明会

” 都市との交流を進める特別委員会

- 10日 観光産業・総務文教常任委員会
- 11日 片品村社会福祉協議会理事会・評議委員会
- 12日 ホワイトワールド尾瀬岩鞍安全祈願祭
- 13日 12月議会定例会閉会
- 17日 武尊牧場・オグナほたかスキー場安全祈願祭
- 18日 スノーパーク尾瀬戸倉安全祈願祭
- 20日 片品村盟友会との意見交換会

1月

- 7日 消防団出初め式
- ” 新年賀詞交歓会
- 12日 片品村成人式
- 22日 冬季交歓会受入式



武尊牧場・オグナほたかスキー場
安全祈願祭（12月17日）



椎坂トンネルの開通式
（11月22日）



全国過疎地域自立促進連盟定期総会
（東京、11月15日）



新年賀詞交歓会
（1月7日）



消防団出初め式
（1月7日）



片品村盟友会との意見交換会
（12月20日）

発行 片品村議会

責任者 飯塚 美明

編集 議会広報編集特別委員会

○平成25年に議会傍聴をしてくれた人数は？

皆様、ありがとうございました。これからも傍聴をお願いします。

第1回議会臨時会	2月22日	1人
第2回議会定例会	3月7日	17人
	3月15日	3人
第3回議会臨時会	4月24日	1人
第4回議会臨時会	5月16日	1人
第5回議会定例会	6月6日	5人
	6月13日	25人
第6回議会臨時会	6月28日	1人
第7回議会臨時会	7月23日	1人
第8回議会定例会	9月5日	17人
	9月13日	1人
第9回議会臨時会	11月6日	0人
第10回議会定例会	12月6日	12人
	12月13日	2人

3月議会を傍聴しませんか！ 次回定例会は、3月6日（木）の予定です。一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答の全文は、片品村公式ホームページにて閲覧することができます。写真はフルカラーです。 URL：<http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

印刷所 笠原印刷（有）

議会広報編集特別委員会

委員長	戸丸 廣安
副委員長	星野 精一
委員	飯塚 美明
委員	星野 千里
委員	笠原 耕作
委員	今井 功
委員	星野 栄二

編集後記
139号には議会傍聴者数を入れました。それにより傍聴者の現状把握ができるし、一層の情報公開となると考えたからです。議会臨時会の開催数の方が議会定例会より多くなっています。審議に関しては、議会定例会中の予算説明会や全員協議会等での活発な質疑応答があることで、その分、本会議場での質疑が少なくなりがちです。年一回行われる広報クリニックで学んだことを誌面に生かし、村民にとって分かりやすく親しみやすいものにするよう、努力を重ねていきますので、引き続きご意見やご指導をよろしくお願い致します。
（戸丸記）